

第44回 枚方市障害者施策推進協議会議事要旨

日 時 平成20年6月11日(水)

午前10時から正午

場 所 ラポールひらかた3階研修室1

案件1. 枚方市障害者計画等の見直しのためのニーズ調査について

案件2. 枚方市障害者計画等の見直しに関する今後のスケジュールについて

案件3. その他

会長 定刻になりましたので、第44回枚方市障害者施策推進協議会を始めさせていただきます。本日は傍聴の方がおられるということですので、傍聴の許可についてお認めいただいてもよろしいでしょうか。

委員一同 異議なし

会長 それでは傍聴の方に入ってくださいますのでよろしくをお願いします。

(傍聴者入室)

会長 資料1枚方市障害者計画及び障害福祉計画の見直しのためのニーズ調査の概要(案)について事務局の方からご説明よろしくおねがいします。

事務局 (資料に基づき説明)

会長 調査の概要ということで目的、内容、対象者、それから方法、期間という5つにつきまして今ご説明いただきましたけども、これにつきまして何かご質問やご意見ありましたらお伺いしたいと思います。

委員 抽出についてどのようにお考えでしょうか。
実際に、無作為で対象者を抽出すると、障害の軽い人の比率がどうしても高くなります。
仮に聴覚障害者の場合、2級の人と6級の人では、全然障害の程度が違います。さらに同じ2級の場合も、生まれたときから聞こえない人と、そうでない人がいます、等級は一緒でも意味が違うわけです。
ですから、単に数を選ぶとなるとやはり不公平だと思います、1級は何人、2級は何人、3級は何人と分けたらどうでしょうか。1,000人という人数そのものは構わないと思います。

会長 一般的に一つの項目で30件を下回る場合の意見数については、信憑性はかなり薄くなります、今言われたように等級別でやると、これはかなり大変なことになります。

アンケートの精度を上げるためには、難しいですが、視覚や精神、聴覚、言語、このあたりの割合を少しふやして、できるだけ偏りが生じないようにする方法も一つだと思います。

事務局 ご意見ありがとうございます。ニーズをより丁寧に、より多くの方に聞くにこしたことはないのですが、一定等級ごとに分けて行っていくと、視覚障害、聴覚、音声、言語あるいは精神障害者の保健福祉手帳をお持ちの方というのは何十名という単位になってしまいます、後での評価というのが大変難しいものになってくると考えております。

ですから、等級に関係なく、まずは幅広く調査をさせていただいて、その上でまた後ほどスケジュールが出てまいります、インターネットによるアンケートあるいは市民懇談会等で個別の意見を頂く予定はしておりますので、この調査以外でもご意見を聞いていきたいと思っております。

それと、この障害者計画あるいは障害福祉計画、いずれも市の一定の方針をもって最終策定する行政計画でございます。ニーズ調査を行いまして、最大多数の方のご意見が必ず市の政策につながっていくのかということ、決してそうではないと考えております。

ニーズ調査の結果の数字を制度の優先順位にするということではなく、あくまでも基礎資料という形で、市民の方に幅広く、そして平均的なご意見をお聞きしたいという趣旨でありますので、よろしく申し上げます。

委員 確かに1級は何名、2級は何名と分ける必要はないと思いますが、やはり重度の方が、軽度の方が、そういうことは配慮する必要があると思います。

それと、ニーズ調査という表現は、例えば聴覚障害者で1級とか2級の人には伝わらないです。ニーズという言葉の意味がわからない。このニーズという言葉、生活実態といった言葉に変えればある程度想像はつきます。

会長 ありがとうございます。ニーズという言葉については、少しわかりやすい言葉を考えさせていただくということで。

あと、視覚、聴覚、言語、それから精神が、母数そのものが60とか70で少ないですが、これについて、例えば割合をふやすということは無理ですか。

- 事務局 それは当然検討させていただきたいと思います。委員が、おっしゃるように軽度の方ばかりの意見で重度の方の意見が2人や3人しか抽出できなかったとなったときに、信憑性の問題がありますので、一度検討させていただければと思います。あとは、予算の問題になってまいります。
- 委員 児童はどういう扱いになるのですか。
- 事務局 年齢に関係なく、障害種別ごとに数を割り振って無作為抽出しますので、児童だけ特別に枠は設けてはいませんが、対象としては入ってきます。
- 委員 障害児という形で調べた方が、わかりやすいのではと思います。
- 事務局 資料2の調査票の中で年齢をお尋ねする選択肢を設けておきまして、その年齢によって後でデータづくりをしようと思っております。
児童とそれ以上の方を分けるとなると、また母数がふえていくということになりますので、なかなか難しいと思います。
無作為で児童の方が何名ぐらい出てくるのか、というところをご心配いただいているのだと思いますが、今日お示ししている資料では、年齢の内訳という情報はありません。
現状として数字をまだ出しておりませんので、持ち帰って検証させていただければと思います。
- 委員 調査対象者数は手帳所持者数の約4%とあるが4%の根拠というのは何かあるのでしょうか。
- 事務局 調査対象として、まず障害者の所持者数からして1,000名ぐらいが妥当であろうという判断でございます。
市で各セクションが様々な調査を行っているのですが、他の調査では、対象者数の1%台の調査を行っているところもありますし、2%台というところもあります、それらから4%というのは少ない数ではないという認識でございます。

今回の目的は障害者計画の見直しということでございますので、障害者福祉サービス全般について満足度も含め、これからどういうサービスが必要と思っていらっしゃるのかといった、幅広い部分をこのニーズ調査には含める必要があると思っております。そういうことでご理解をいただければと思います。

- 会長 調査の目的にも書いてありますように、基礎資料ということですから、これで計画を立てるということではなく、参考にしながら、方向性については施策推進協議会できちっと方向性を出していくという事でとらえていただけたと思います。
- いかがでしょうか。もう一度再考していただくということでもよろしいでしょうか。
- 会長 では、本題の中身の方に少し入らせていかせていただきたいと思います。
- 資料2 ニーズ調査票について事務局の方から説明いただきたいと思います。よろしくをお願いします。
- 事務局 (資料に基づき説明)
- 会長 まず皆さん方が見ていただいた中でご質問、ご意見を出していただけたらと思います。
- まずは、あなたの家族についての質問の中で何かご意見などありますか。
- 委員 回答方式は記述式になると大変で、チェック方式がいいと思いますが、設問に今満足しているか満足していないか、何に満足しているか、何に満足していないかといった入り口をつけた方が本人にとっては答えやすいのではないかと思います。
- この設問構成になると答えにくいのではという気がします。
- 会長 地域の生活に関する質問以降のところ、満足度から入ったらどうかということですね。
- ただ、順をおって設問をみていくということなので、あなたや家族の質問について先にさせていただきたいと思います。
- いかがでしょうか。この設問は基本属性の部分ですので、これ以外で何か聞かなくてはいけない、あるいは聞かない方がよいといったものがありますか。
- 委員 (誰と住んでいるのかという設問に対して)施設の職員と一緒に住んでいるという場合はどうなるのですか。
- また、だれかの支援を受けていますかという設問もあるが、単に同居している人のことを聞きたいのか、住んでいる中でだれかの支援を受けているということを知りたいのか内容がわかりにくい気がします。

- 委員 グループホームやケアホームもあるが、どう回答してもらおうのですか。
- 会長 今取り上げるのは、基本属性のところですので、問1から問8までの間ですが、問5にも関連するということでのご意見ですね。
- 委員 入所されていたり、グループホームにお住まいの方は、ひとり暮らしと回答すべきなのか、その他に入れようか迷うのではないかと、というご指摘なんだと思います。
グループホーム等の入所生活の方はひとり暮らしとお答えくださいといった説明がないと答えにくいのではと思います。
- 事務局 施設入所とかグループホーム入居といった選択肢も入れさせていただきたいと思います。
- 会長 それではここには、グループホーム、それから入所施設という選択肢を入れて、家族ともしくは一人暮らしの人については、調査行うときに分けておくということによろしいですか。

私は、枚方市のどの地域に住んでいるかといった情報が基礎項目としてほしいと思うのですが。枚方市のどの地域に住んでいるかといった分類は可能ですか。
- 事務局 小学校区とか中学校区、いろんな分け方がありますが、回答される本人に伝わるか、こちらが設問をつくっても、どれに当てはまるか、なかなか選択できないのではないかと思います。
枚方市何々町という表現が地域の名前として一番認識されていると思います。北部や中部や南部といってもどこが境界かわからないと思います。だから一般的にわかりやすいのは住所だと思います。
- 会長 やはり地域性は、福祉施策の中でもものすごく大きな要素です。だから答えたくないという人は答えなくてもいいけども、枚方市何々町というくらいまで書く項目が必要だとおもいます。
- 委員 地図をかいて、あなたはどこへ住んでいますか丸をつけてくださいという設問にされてはどうですか。
- 副会長 障害をお持ちの本人が答える場合もありますし、その地図で見てもわからない方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

会長 ここは町名を書いてもらいましょう。それからもう一つ、サービスと収入は関係が深いので、例えば年金や就労の等による収入の情報が欲しいのですがプライバシーの問題等あって、難しいのでしょうか。

委員 就労と手当てを書いてもらうというぐらいですかね。

会長 やはり収入は生活に大きな関わりがあると思いますので、その辺、何か良い手立てを考えていただけますか。

では、次に行きます。4ページの問9 地域での生活に関する質問ということですが、例えば、今までずっと家にいた人が施設言われても、施設のイメージは沸かないだろうし、グループホームに住んだことがない人がグループホームに暮らしたいかどうかを尋ねても、恐らくわからないと思うのです。どういう聞き方をしていったら伝わるのか、お知恵いただけたらありがたいと思います。

委員 設問の種類が多くなってしまうので、どうかという気もしますが、基本的に今の生活に満足しているかどうかが出発にならないと答えにくいのではないのでしょうか。例えば、今家族と住んでいて満足してない場合なら、干渉されるとか、将来ひとり暮らしがしたいとか、満足してるかどうかから枝分かれしていった方がよいと思います。

会長 恐らく項目数としては厳しいところまできていると思います。
例えば満足してない人はどういうことで満足してないかという項目をつくって、どういう暮らしをしたいかというのはもうわからないからやめとこうという考え方がありますね。

委員 ちょっと話は変わりますが、昔、大阪府で自活訓練事業というものがあって、それは、グループホームを体験して、その後、グループホームに入るというものなのですが、体験することでグループホームって、ああ、こんなものかとわかって入っていくということでは効果があったと思うのです。
つまり、イメージというのはある程度本人に伝わってないと駄目だし、ちゃんとイメージをもった上で回答を選択しているがどうかは、よくわからないところだと思います。

会長 今日は、ある程度言いつ放しで結構です。この後もう一回検討委員会みたいなものを設けたいと思っています。
今ここで、この選択肢はどうこうというのは無理な話ですので、どんどん思いつきで結構ですので発言いただけたらと思います。

- 委員 一応無作為で抽出ということなので、精神の方だと入院中の方も対象になる可能性はありますよね。
住んでいるという表現は正しくないかもしれませんが、今現在いらっしゃるところというのは、病院というのも考えられると思います。
- 会長 住んでいるという表現より、今現在どこにおられますかぐらいの表現のほうがふさわしいと思います。
問10では、病院の職員も入れた方がいいですね。
その他いかがですか。先ほどの委員からの意見についてですが、もう問11は余り意味がないというふうにとってもよろしいですか。
- 委員 質問の意図は理解できるのですが、問題はちゃんと伝わるかですね。
- 会長 選択肢をもう少し検討してもらった方が良いかもしれないです。問11から以降については検討委員会でもつくって検討していく必要があると思います。
では次、「あなたが出かける時のことについてお尋ねします」の箇所について、発想だけでも結構ですので考えてください。
- 副会長 問13で、出かける回数を聞いているが「余暇活動へ出かける」、「施設に出かける」どちらを想定しているのですか。
- 事務局 すべての外出を含んでいます。
- 委員 手段と頻度と、主にどんなところ行くかということについても尋ねていいのではないのでしょうか。
- 会長 では、仕事に行くという場合もあるし、遊びに行くという場合もあるしということでそれも選択肢として入れましょう。
- 委員 ここで聞きたいのは、単に引きこもってないということなのか、それとも余暇もちゃんとできているのかどちらですか、回数だけでよいのですか。
- 事務局 出かけたのに出かけられない人の原因はどこにあるのかを聞くというのが前提の質問でしたが、中には出かけたくないから出かせないというのもあるかもしれないと考えています。
- 委員 回答する方が、なぜ出かせないのかという理由をきちんともっていないと、

質問しても回答に行き着かないのではと思います。

会長 社会的に整備されてないところを引き出したいというのが趣旨ですよ。

事務局 ハードの部分にバリアがあってなかなか出られないのか、あるいはシステム、つまり人の支援ですが、そこにバリアがあってなかなか出られないのか、そのあたりを一番知りたいと思っています。

会長 出かきたいけれども出られないとか、出かけている人はどういったところに困難があるのかを聞くのがこの質問の趣旨ですね。
施設についてはまた別の施策でというのがここの考え方ですね。

事務局 そうです。

会長 一つ一つの設問がそれぞれ大きい項目になっていますが、一方で細かく、尋ねていくとハード、ソフト、すべての調査になるので、そこまですべての調査できなくなってしまう。
だからここはあくまでも、何がバリアなのかに焦点を合わさないと、どんどん範囲が大きくなってくような気がします。もう単純にするかですね。
どんなことに支障がありますかということ聞いて、単純化した方がわかりやすいという気がします。

委員 問16で、人の目が気になるという選択肢があるのですが、どういう意味ですか。

事務局 人の目が気になるということが出かける際のバリアになっている人もいらっしゃるという意味です。だから啓発が必要だという意図です。

会長 わかりました。では、次に入らせていただきます。あなたの自由時間の活動についてお尋ねしますということですが、これは社会参加でどのような事を望んでいるのか、そのためにどのような地域整備が必要なのかというのが中心ですね。
働くという事以外のところに焦点を当てたいということだと理解してよろしいですね。

会長 設問の中で問17の選択肢3の「地域で他の障害者を支援する活動に参加したい」というものと、選択肢4の「地域でボランティアなどの社会貢献活動がしたい」この2つの違いがわかりにくいです。内容が重複していると思

ます。

委員 問17の選択肢5と6ですが、同じ障害のある人友達や気の合う人と過ごしたいと、遊びたいといった選択肢が大事だと思います。「同じ障害のある人に相談したい」という選択肢ですが、相談する相手が同じ障害者であるということはないと思います。

委員 この設問は具体的にできないのでしょうか、例えば芸術文化活動という表現は、最近絵をかいている、ただ絵を習いに行きたいと、といった表現の方がわかりやすいです。

会長 具体例を出すかわりに、設問3「地域で他の障害者を支援する活動に参加したい」と設問6「同じ障害のある人に相談したい」は削除してはどうですか。先ほど発言のあった、友達や気の合う人と過ごしたいという箇所ですが、障害のあるという言葉を入れると限定されてしまうので削除してはいかがでしょうか。

ここはスポーツとか文化芸術とか、このあたりについては具体的な内容を括弧で列挙をすること、友達とか気の合う人と過ごしたいとか、遊びたい、楽しみたいぐらいの表現を入れるということにしておきましょう。

では、ここはよろしいですか。あと問18についてはいかがでしょうか。

委員 問17にあるレクリエーション活動と、娯楽という言葉が、同じ意味を指しているように思えるのですが。

会長 それでは、レクリエーション活動に集約しましょう。

委員 例示をされるということを考えたら、スポーツとレクリエーションを別選択肢にされておいた方がわかりやすいと思います。

会長 ご意見ありがとうございます。他はいかがですか。

次に、あなたが困ったときの相談や情報収集についてお尋ねしますということですが、問19から問22までで、どういう相談機能が必要とされているのか、どういう場でこういった情報の提供が求められているのか、ということを中心にしていきます、情報入手について聞きたいということです。

委員 友人、近所の人、会社の上司、といった選択肢に加えて手話通訳または、手

話ができる人も入れてください。

委員 これも、困っているのか困っていないのか、先に満足度を聞くほうがよいのではないのでしょうか。

会長 現在、だれかに相談することに困っているかどうかを先に聞くということですね。

では、もし困った場合にはだれに相談するのかという問いを入れるとして、先ほど発言のあった部分は、手話のできる人の方もしくは手話通訳どちらの表現かがいいですか。

委員 手話のできる人にしてください。

会長 他に何かありますか。

委員 例えば、ふだん来てくれる人がボランティアなのかヘルパーさんなのかケースワーカーなのか、わからない人もいます。
施設の職員の人を先生と呼んでいるケースもあるだろうし、近所の方がヘルパーだったりするケースをどこには当てはめるのか難しいですね。

会長 自分でわかる人は選択肢に丸をつけてもらって、わからない人は、その他で記述してもらおうということで処理するかですね。

委員 選択肢に丸をつけるということですが、視覚障害者の場合、点字では、丸を打てないので、その辺を配慮していただけるのか聞きたいです。たくさん選択肢があって丸を打つということになると、そういう部分も点字できちっとしていただけるのでしょうか。

事務局 アンケート対象が視覚障害の方の場合でしたら、例えば事前にお電話させていただいて、点字を希望されるのなら点字で、聞き取りが希望なら聞き取りなども検討しようと思っています。

事務局 同じく、聴覚障害をお持ちの方の場合にも、それぞれ困っている部分がおありだと思いますから、例えば本日委員として出席いただいている団体の方に相談をさせていただこうと思います。
基本は個人に送りますが、それぞれに対しての対応が要るということですから、そこは丁寧にさせていただきます。

- 委員 はい、わかりました。
- 会長 ありがとうございます。
他にございませんか。問22は、よろしいですか。あなたは福祉などについてどのような情報を知りたいですかという設問ですが、いかがですか。選択肢1が医療に関することについて。2つ目が、福祉サービスの利用の仕方について。3つ目が、障害のある人向けの賃貸住宅やグループホーム等について等々、大体網羅されていますか。
- 委員 順番ですが、福祉などについてどのような情報が知りたいですかという質問で、1番目が医療に関することという所にひっかかるのですが。
- 会長 ありがとうございます。そのとおりですね。
- 委員 問22の中で、精神障害者の人たちが何か居場所のようなものを欲しいと思っているのかどうかを知りたいですね。そこに行って誰かに会うわけではない、だれかと話をするわけじゃない、要するに居場所についてです。
- 会長 それをそのまま書いた方がわかりやすいですね。
- 委員 問22の同じ障害のある仲間と出会う場とはどういうイメージをされているのですか。
- 事務局 主に地域活動支援センターと考えています。
- 委員 同じく問22の「サービスの利用の仕方について」ですが、例えば通所施設等の空き情報、今やったらこういう施設がありますよといった情報の提供は利用の仕方に含まれるのかどうか、少しわかりにくいですね。
- 会長 例えば、利用に関する様々な情報といった方がご意見に近いのではないのでしょうか。利用の仕方とは、分けた方がいいですね。
- 委員 具体的にどんな情報が欲しいか等の、記述があった方がよいのではないのでしょうか。
- 会長 具体的にあれば書いてくださいで括弧をつけますか。
- 副会長 障害のある人が出かける先で使える施設とありますが、これはどういうこと

ですか。

事務局 車いすで入れる施設や車いすで入れる飲食店があるといったことを意図して
います。

副会長 わかりました。

会長 施設及び設備というように、設備という言葉を入れた方がわかりやすいと思
います。
例えば、括弧して映画館や公共施設など具体的なものを書いておいたらどう
ですか。

他はよろしいですか。では、後で時間があればまたお聞きしますので、次は、
これはコミュニケーション支援ということで視覚障害の方と、それから聴覚
障害の方に対してのみの質問項目です。
どうですか、この箇所は最後の部分で記述も入っていますし何かわかりにく
いということはありませんか。

委員 問23で「必要な場面で必要な支援を受けることはできていますか」とあ
りますが、必要な場面とはどういうことですか。

事務局 支援が必要だと思われたときに支援があるかどうか、という意図です。

委員 場面をという表現を変えて、必要なときにといった表現の方がわかりやすい
と思います。

事務局 分かりました。

会長 では、それで修正するというのでよろしくをお願いします。
次は、今後、行政が充実するべき取り組みについてお尋ねしますということ
で選択肢が列挙されています。
具体的に思われる内容をご記入くださいということ自由欄がありますが、欄
が少し小さい気がします。
ここについては、今の施策の充実をするということで具体的に書いていただ
きますが、記入欄が小さいと書きにくいので少し工夫がしてもらった方がい
いかと思います。

- 事務局 わかりました。
- 会長 では次に、問25から最後の36まで就労に関する質問が出ています、問25は、現在働いているかどうか、働いているとしたらどんな形態で働いているかをたずねています。
働いていない方は、問33以降で理由を尋ねています。
働いている方については、問26以降で、収入、労働日数、職場の規模、就業年数、それから今の仕事をどうやって見つけたのか、仕事で嫌なことや心配していることを尋ねています。
それからなかなか難しいことですが、今後どのような仕事をしたいかという所も尋ねています。いかがでしょうか。
- 委員 最重度の障害者を抱えている作業所なのですが、同じような作業所が数カ所あると思うのですが、そういうところに通所している方は、働いてないということにしてもいいのか、どういうふうにとらえたらいいのでしょうか。
それともう一つ、就労移行B型をどう考えたらよいのでしょうか。
- 事務局 選択肢6の「施設、作業所への通所」を設けている意図ですが、作業所やB型の事業所に通って工賃を得ていることが働きに行っていると考え方がいらっしゃると思うので、そういう前提で設けている選択肢です。
- 会長 例えば、少しでも工賃をもらっているかどうかを括弧の中に説明として入れれば、その方がわかりやすいと思います。
回答者によっては、その他という選択肢に作業所、工賃はもらっていないが作業所だと記入するかもしれない。括弧に説明を入れておくほうが、後で種別しやすいですね。
よろしいですか。問29ですが、選択肢に「市役所の紹介」は入れないのですか。
- 事務局 追加させていただきます。
- 会長 では、次に行きます。
問31「あなたは今、仕事について心配していること、嫌なことがありますか」この辺はいかがですか。
- 委員 先ほどの年齢のことにかかわりがあるのですが、中学校を卒業して仕事についている人がいる場合はどうするのですか。

- 会長 例えば15歳で働いている人の場合。工賃をもらえるようなものであれば、ここで今の働いている状況を書いてもらったらいいということです。
その次の問32番あたりはどうか、「今後どのような仕事をしたいですか」ここはかなり具体的になっています。
- 委員 問32の質問の意図がよくわかりません。これは働いている方に、やめたらどんな仕事をしたいかという趣旨なのですか。
- 事務局 必ずしも現在の仕事が、希望に沿っているとは言い切れないと思うので、別途働いている方に関しても、働いてない方に関しても同じ質問をしています。
- 委員 働いてない人に絞って質問をされたらどうでしょう。
逆に言うと働いている人に絞って、どのような仕事をしているかを聞く方が良いのではという気がするのですが。
- 会長 例えば自由記述で、こんなことがしたいというのを書いてもらうというのは難しいですか。
- 委員 障害の種別にもよるのでしょうか、知的の方は、なかなかどんな仕事をしたいかと聞いても返事はありません。
- 委員 現状に対する満足、不満足を聞いた上、したい仕事があるという質問に対して答えてもらう形ならどうでしょう。
今の質問の形は、満足してない前提で選択肢をつくっているから、回答者は答えにくく、別に今のままでいいのにと感じてしまうのではないのでしょうか。
- 会長 満足について、どこ辺で尋ねるかですね。問31以降問32までの質問は、少し検討してもらった方が良いでしょう。
- 委員 仕事に不満足な人と、職場に不満足の人がいると思います。対策もそれぞれ違うはずで、それぞれ質問を分けられたらと思うのですが。
- 会長 わかりました。仕事と職場と分けて満足度を確かめることにしましょう。

それと問35番あたりは、かなり伝わりにくいと思います。ジョブサポーターといわれてもなかなかわかりにくいので、もう少しわかりやすい表現にしてください。問31以降についてはもう少し練っていただいた方よいという気がします。

次の議題との関係で、時間が迫ってきており急ぎます。
今後のスケジュールについて事務局より説明をお願いします。

事務局

(資料に基づき説明)

会長

ありがとうございます。すぐ直近に調査をしなければならないという状況が迫っています。
一方で今見ていただいたように、まだまだ修正すべき点が残っています。やはり、すべての委員に集まってもらい、再び検討するというのはなかなか大変なので、何か事務局の方から案があれば提示願います。

事務局

ありがとうございます。事務局の案としては今日頂いた意見を踏まえ、相談支援事業者から選出いただいている委員を策定委員としてご協力いただければと思っています。

会長

事務局の提案についていかがでしょうか。

委員

構いませんが、調査票を聾啞者向けに別につくってほしいと思います。
生まれたときから日本語を聞いたことがない人の立場で言うと、調査票の中で最初にでてくる、ご本人という言葉は理解できません。
だから、こういった調査がきても、聾啞者は回答しないで捨ててしまうのです。

会長

それぞれの障害種別によって調査手法は違うと思います。例えば知的障害の方でもルビつけるような手法で伝わる人もいれば、逆に伝わらない人もいますので、調査の方法については具体化していく中で考えていくべきだと思います。まず中身づくりが先にないと、その後の配慮というのはなかなかできないと思いますので、それについてはまたよろしく願いいたします。

とりあえず、そういう特別な配慮も含めて見直していただいて、やはり読んでみたけど分からない、ここはこう修正してほしい等の意見を来週の水曜日までに事務局の方におねがいします。

事務局

ご意見については、電話、ファックス、メールでも結構です。

会長

その後、頂いた意見を集約しながら、検討委員会をつくっていただいて検討していただきます。

お忙しいときに大変申しわけありませんが、3人の委員の方、よろしくお願いいたします。

その他は何かありますか。

それでは長時間にわたりましてご協議いただきました。ありがとうございました。またよろしくお願いいたします。